

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : University of Winnipeg

**留学期間** : 平成 28 年 9 月 4 日 ~ 29 年 3 月 2 日

・留学中の生活

カナダのウィニペグで 6 ヶ月間の長期留学をしていました。ウィニペグ大学で English Language Program(ELP)という語学留学プログラムに参加していました。授業は月曜日から金曜日、午前と午後の 1 日 2 クラスを受ける形でした。到着後すぐに受けたテストにより、午前のクラスがレベルに応じて分けられました。希望通りのリスニングとスピーキングに特化したクラスに入ることができたのですが、クラスメイトのレベルの高さに圧倒され、自身の実力、自身や積極性が足りないことに気がつきました。ですが、いろんな国から集まったクラスメイトと会話を重ねるごとにますます英語を話すことを、失敗を恐れず、楽しく感じるようになりました。クラスは 20 人ほどで、日本人は半数を占めていました。1 ターム目の午後クラスは、Theatre と TOEFL(Reading & Writing) をとっていました。Theatre では映画や舞台のように感情的に英語を話せるようになるための勉強をしました。グループでオリジナルストーリーを作りクラスで演じ、時には大人数の前で一人芝居もしました。TOEFL ではエッセイの書き方の基礎などを学び、たくさんのテーマに沿ったエッセイを書きました。1 2 月末に 1 ターム目が終了し、1 月末に 2 ターム目が始まりました。2 ターム目は生徒が少なく、午前のクラスはたったの 8 人でした。生徒と先生の関係も近くなり、一緒にカフェに行ったりパーティーをしたりしました。2 ターム目の午後クラスは Reading と Canadian Culture & History でした。Reading では長めのストーリーの本を読み、その本のプレゼンをしました。Canadian クラスでは、大学近くにある Manitoba Legislature Building に訪れガイドツアーに参加したこともありました。カナダの文化をカナダの方から直接学ぶという体験ができとてもタメになりました。そして、金曜日だけは午後のクラスが無く、代わりに毎回違ったアクティビティが行われます。ボーリング、アイススケートなどのアクティビティがプログラム生の仲を縮める非常にいい機会でした。プログラムの一環として、Language Partner Program という現地の方とパートナーとなり 1 2 時間会うというプログラムがありました。私のパートナーはウィニペグ大学で日本語を勉強している女の子でした。気づけば 1 2 時間どころか、週に 3 日以上放課後に会うほどの友達になっていました。彼女の家で映画を見たり、分からないことを教えてもらったり、日本語を教えてあげたり、食事に行ったりと、数え切れないほどの思い出があります。彼女のおかげで、彼女の友達とも仲良くなることができました。毎週日曜日には、ウィニペグ大学で Japanese & English conversation club という英語と日本語で 1 時間ずつ会話するというものがあり、ほぼ毎回参加していました。そしてこの留学中、私を本当の家族のように支えてくれたのがホストファミリーでした。お母さん、お父さんと三人の子どもの 5 人家族の一員となりました。休日には家族みんなで公園や買い物、ホッケー観戦、子どもたちの学校行事、誕生日パーティー、お菓子作り、キャンプファイヤーなど、たくさんの時間を過ごしました。特に一緒にいることが多かったお母さんとは、悩み事もすべて相談しあっていました。私

の英語能力の向上のために、友達の輪が広い私のホストファミリーは、ほぼ毎週私を彼らの友達の家でのパーティーに連れて行ってくれました。6ヶ月間、とにかく英語を話す機会にあふれた環境にいたことができたと強く感じます。

#### ・留学の成果

自分でどれほど英語力をあげることができたのか決めることは難しいですが、この留学は英語に対する意欲を更に向上させたと言い切れます。授業が始まってから約1ヶ月は、英語がなかなかうまく聞き取れず苦戦していましたが、時間が経つにつれて聞き取れるようになっていました。この留学の前まで、日本では十分な英語を話す機会がなく、ネイティブの友人もいなかったため、会話の経験がありませんでした。ですが、今では冗談などとも言えるようになり、会話の幅も広がったかと思います。最も成長できたと感じる点は、人前で話すことができるようになったこと、失敗を恐れないこと、そして自分の意見をしっかり持って発言するようになったことだと思います。Theatre クラスでの人前での演技、更に一人芝居、そしてたくさんプレゼンテーションは私が最も苦手としていた人前での発言を、慣れて楽しく感じさせるまでとなりました。クラスで行ったディベートでは、最初は自分の意見を述べることなく終わっていましたが、次第に慣れてきて、自分の意見を相手に承諾してもらえうれしさを知った後は、少しは成長したかと思います。まだまだ成長すべき、改善すべき点がたくさんあります。語彙力を更にあげて、会話をより中身のあるものにしていけたらと思っています。

#### ・留学で得たことをどのように活かすか

この留学で得た英語力やコミュニケーション力を、「海外で日本人の観光客のお手伝いをする」という将来の目標に活かしたいと思っています。具体的には、まず今年にフロリダのオーランドにあるウォルトディズニーワールドでのインターンシップに参加することを考えています。海外で働きたいという目標もありますが、同時に、日本で海外からの観光客に日本のおもてなし、文化を伝えたいという目標もあります。2020年には東京オリンピックを控えている日本は、これから更に海外からの観光客でいっぱいになるだろうと思います。その際は存分に日本の魅力を世界に発信するよい機会になると思います。英語を話せる人がいるということは、観光客の方々に安心を与える一番のことだと思います。